

お役立ち情報

外構リフォーム ～コンクリート土間～



駐車場の土間は、重たい車が載るから割れたりしないの？

駐車場工事見積りが思った以上に高かったけど、こんなに必要なものなの？



リフォームエピソード

玄関アプローチ土間を打つ工事をしたときの話しです。
当たり間のことですが、コンクリートが乾いて固まるまで、お客様には足場板を渡して、橋を渡って家にはいるという、不自由な思いをしてもらいます。
コンクリートが固まるまでの辛抱と思っていたのに・・・
次の日の朝、打ちたての土間に足跡が！ 犯人は野良猫！
水を入れたペットボトルを置いていても効果はありませんでした・・・
私たちも野良猫の管理まではできませんので、コンクリートの表面が乾くまでは、いつも心配です。この現場では、『きれいに』猫の足跡がついていたので、これはこれでデザインの一部分として！



土間打ちなどの外構工事は工事工程や必要な工事が必要な工事か？など、お客様が知らない事が多いので十分な説明を必要とします。
それと、外構工事はキッチンリフォームなどと違い「物の値段」がない分、大半が「手間工事」です。見えない部分（土の下など）の費用もかかります！ 予算の計画がしにくいですよね。おそらくお客様が思っておられる金額よりも必要でしょう！

「コンクリート土間の基礎」を知ろう！



コンクリートの土間を打つ場所と言えば
駐車場・犬走り・ウッドデッキの下・玄関アプローチなどの
タイルや石の下地として。
土間の役割を知りましょう。

① 駐車場土間

車が汚れないようにね！ 雨水はきっちと勾配をとって溜まらない様に施工します。
クラッシャー（砂利）・ワイヤーメッシュ（鉄筋）・コンクリートの順で引き込んでいきます
駐車場の場合 土間の厚みは8センチ～10センチは必要ですね！

② 犬走り・ウッドデッキ下土間（基礎土間）

家は湿気に弱いお話しは以前しましたね。
これらの土間は地面からの湿気を防ぐ役割があります。土間の厚みは駐車場よりも薄くても大丈夫です。単純に水はけの為だけではなく、家を長持ちさせる重要な役割があります。

③ タイルや石の下の土間

これはタイルなどを貼るための下地ですね。それと雑草が生えないようにする役割も！



それでは、『コンクリート』っていったいなんでしょう？

セメント(石灰岩)	水	砂	砂利
モルタル（セメント+水+砂）			
コンクリート（モルタル+砂利）			

モルタルは基本的に下地材や表面的な塗りに使う材料です。
コンクリートは強度を増すために、砂利を加え駐車場や基礎に使用します。季節や用途によって水の量を調整し調整します。

「土間仕上げの種類」を知ろう！

『土間仕上げの種類』 ～駐車場・アプローチデザイン～

家の設計にはこだわって作ったので、外構のデザインにもこだわって作りたいと思っています！



どんな材料があるのか分からないので、イメージが難しいですね・・・



家族みんなの意見を取り入れて、「使いやすくて」「おしゃれな」感じにしてほしいです。



外構工事は、完成後のイメージがわかりにくいですね。
また自分のイメージを業者に伝えるのも難しい・・・

ナイスリフォームでは、「完成の形」がわかるように「絵」でイメージをつかんでもらい打ち合わせをしています。



玄関までの通路（アプローチ）や面積の広い駐車場などは、デザイン性が大切！ また、駐車場は重たい車が載るので強度が大切！
年数による劣化も考慮にいて材料選びをしましょう。施工業者さんには、「強度は大丈夫？」「施工方法は？」「年数が経つとどうなるの？」こんな質問をしてきっちり理解しましょう。



① **コンクリート打ち放し（コテ押さえ）** 駐車場なら最低10cmの厚みは必要です。タイル貼りなど仕上げをする際の下地となります。打ち放しの状態で強度は充分ですが、無機質な感じが残り汚れやすいのが弱点。しかし仕上げをしない分、コストダウンに繋がります。

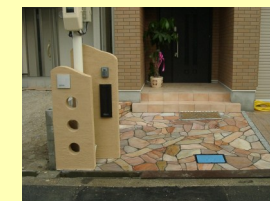


② **タイル貼り** 形・色・風合い・大きさ、非常に多くの種類があり、階段やテラス、玄関ポーチなど西洋風なデザインに広く使われます。最近では、表面のざらついた素焼タイル「テラコッタ」が人気ですね。下地にはコンクリート土間が必要ですし、商品代そして、貼る手間がかかるのでコストは高くなります。



③自然石貼り

タイルと同様の理由で、コストは高めですね。最近では、ピンク系・黄色系の石で、自然に割れたようなものを貼っていく「乱貼り」が人気です。和風にも洋風にも合わせやすいのが自然石の特徴です。



④ 凝固樹脂系（洗い出し）

小さな砂利を敷き詰め、樹脂で固めたものです。主に通路に使われます。年数が経つと薄く色あせてくるのが難点ですね。



⑤ インターロッキング・レンガ

土の上から直接施工が可能で、低コストで工事ができます。主に歩道や庭に使用します。駐車場に使う場合は、コンクリート下地が必要です。



⑦ **その他** 土間デザインは通常、色々な素材を組み合わせで行います。

- **レンガ・ピンコロ**：ラインを入れたり、土間の見切り材としてや、階段の立ち上がりに使います。安価なもので1個数十円からあるので使いやすいですね。
- **珠砂利**：手軽にイメージを変えられるのが利点。歩くと音がなるので防犯にも役立ちます。
- **芝生**：緑の庭は憧れますが、水はけを注意して施工しないとうまく育ちませんよ。
- **リュウノヒゲ**：駐車場などのポイントとして隙間に植えたりします。生命力が強いのでたまに草刈をしないと、育ちすぎます。



↑ピンコロ

↑アンティークレンガ

↑珠砂利

↑芝生

↑リュウノヒゲ

「塀・門柱仕上げの種類」を知ろう！

『塀・門柱仕上げの種類』 ～形と質感デザイン～

ナイスリフォームでは、「完成の形」がわかるように「絵」でイメージをつかんでもらい、打ち合わせをしています。

例えば、左が打ち合わせに使用した絵です。そして右が完成後の写真。

ほとんど同じものが出来上がりました。

リフォームはあらかじめ完成後の商品を確認できない「形がないもの」を提供する仕事です、だからこそ打ち合わせが大切！



① 塗りもの

塗装（ペンキ） 外壁などと同様に、塗装屋さんがローラー、はけ、吹付けで色を塗る。昔から広く使われていますね。雨だれなどの汚れが目立つのが難点ですが、比較的安価。

左官（ジョリパッド） 和室のジュラクの様に左官屋さんがコテで塗っていきます。曲線の塀や凹凸に対応できる事と、あたたかみがあり、色も豊富なのでデザイン性に富む事が利点です。

上：塗装仕上げ 下：ジョリパッド左官仕上



② 貼りもの

土間仕上げ同様、**タイル・石**を貼っていく方法です。

種類も豊富で高級感があり、耐久性が高いのが利点。逆に、施工に手間がかかるのと、材料費がかかるので、コスト面は高めなのが欠点ですね。



③ 一体のも

塗りものや貼りものは、ブロックを積んで塀を作り、ブロックの上に仕上げをするんですが、ブロック自体がコンクリートむき出しではなく、仕上げ（化粧ともいいます）がされているブロックもあります。

リブブロック（化粧ブロック）

普通のコンクリートブロックとほぼ同じ位の予算で出来るので、新築などで広く使われています。右写真



④ 一工夫もの（デザインのもの） 家の中だけではなく、外もおしゃれに！

- **開口**：四角や丸の穴あきブロックを使うか、望みのサイズ・形でオリジナルの開口も可能です。明り取りや、防犯面（塀の裏に隠れても外から見えるように！）に有効です。
- **オブジェ**：記念の手形プレートや、部分的にタイルを貼ったり！ 「飾り」用の商品もメーカーから出ていますよ。
- **曲線加工**：塀の上を波の様に曲線にしたり、円筒形の門扉を作ったり、ブロックの積み方でデザインは自由です。仕上げは「塗りもの」がお勧めですね。



↑ 穴あきブロック

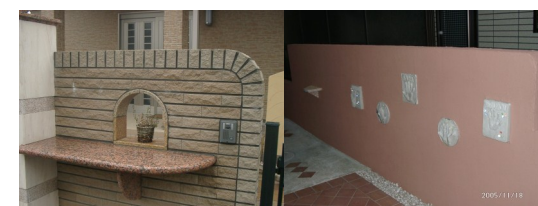


↑ 曲面塀・オリジナル丸開口

左：施工中 右：ジョリパッド仕上げ



↑ 曲線塀・ポイントレンガ貼り
ジョリパッド仕上げ



↑ 石製花台 ↑ 手形プレート



↑ 塀オブジェ

（東洋エクステリア
商品）

「雑草処理の方法」を知らう！

『もうすぐ夏、庭の雑草が・・・』 ～雑草処理の仕方～

庭や通路の雑草が生えほうだい・・・
何かいい方法ないかしら・・・



年数回「除草剤」をまいています。
お金もかかるし、手間もかかるから
防草工事をしたほうが、賢いかしら？



この年になると、暑い中での草
抜きも大変なので、毎年業者さ
んにお願いしています。



「雑草対策」の方法を一覧にしてみました。

効果・価格・見た目

を比較検討して選びましょう！



工事内容	防草効果	工事金額	見た目（雰囲気）	
①除草剤散布	効果○ 持続性×	○ 安価	—	
②転圧	効果△ 持続性△	△	○	色が豊富なので好みの色を選択可能。
③凝固樹脂	効果△ 持続性○	△	△	
④防草シート	効果○ 持続性○	◎ 安価	×	防草処理をした上の「仕上げ」次第で色々
⑤コンクリート	効果◎ 持続性◎	×	×	

① 除草剤散布

ガーデニングの花木、家庭菜園などに有害な薬品が含まれていないものを選んで下さい。

- 自分でできるのでコストが安く済みます
- × 年数回散布が必要・効果が持続しない

② 転圧

クラッシャー（碎石）やインターロッキング（セメントレンガ）を土の上から押し固めるという方法です。歩道や公園に広く使用されています。

- 並べ方や色合いでおしゃれな庭の演出が可能
- × 平坦にするのが難しく、隙間から雑草が出てくる場合があります



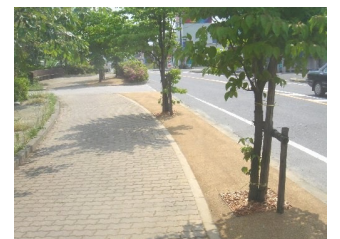
インターロッキング

③ 凝固樹脂系仕上げ

水や接着剤で固めてしまうタイプの仕上げ材です。

- 工事が簡単で比較的安価
- × 土地状態により割れができる
心配がある、

写真右樹木周辺、土のように見える部分が防草仕上げ（YBK ガンコマサ）



④防草シート

公共工事や土手、畑道などに使われています、通気性・透水性があるので防草したい部分だけの工事が可能。

- 効果が高く、安価
- × 灰色や緑色のシートなので敷き込みだけでは見た目が悪い
シートの上に砂利や砂などをかぶせて見た目をカバーする必要があります。



⑤コンクリート土間・アスファルト舗装

絶対に雑草が生えない方法はこれしかありません！

- 絶対的な防草効果
- × コストがかかる 庭であっても6センチぐらいの厚みは必要です
「コンクリート打放し」のままでも良いですが石やタイルなど仕上げ工事でデザインは無限に可能です。



コンクリート打放し

「狙われないようにする防犯」を知ろう！

『狙われないようにする防犯』 ～外構デザイン～



普段は祖父母しか家に居ないので、防犯面が心配しです。

共働きで、留守にしがちなので、すこし高いけど、防犯システムを検討中です。



防犯会社と契約して、家中にセンサーを取り付けてひと安心です！



『入られてからの防犯』と『入られないようにする防犯』があります！

例えば、家に設置したセンサーが、侵入者に反応した・ガラスが割られた事に反応した。つまり「入られた後」「壊された後」ですよ！

でも、防犯としては確実性があります！

家の中の防犯システムは、『最悪侵入されても被害にあわないための防犯』と考えて下さい。

それじゃあ、『入られないようにする防犯・狙われないようにする防犯』はどうでしょうか？



設計担当
藤本 伸浩

『入られてからの防犯』は、防犯会社との契約が必要ですし、センサーなどの機器も必要、少しお金がかかるかもしれませんが、しかし信頼性の高いものです。

『入られないようにする防犯』は、前者よりもコストを抑えてできますが、完璧にするのは難しいかもしれないですね、あくまで補助的な防犯であり、威嚇の役割の方が強いかもしれません。

簡単にできる「威嚇の防犯」

① 光り

車などの防犯も同じ考えですよ、常に点灯や点滅していると、例えそれがダミーであっても警戒して「やめておこう」と考えますから！ 明るい門灯にする、門灯の数を増やすなどが有効、常に点いているのが気になる方は、センサーライトのように、動きに反応して点灯するものでも有効です。



↑ 通路の間に門灯を追加設置



↑ 市販の人感センサーライト

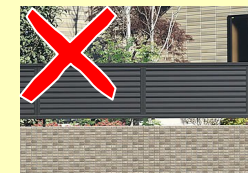
② 視線（隠れ場所）

侵入者は、道路を歩く人、隣の家から見られてしまうのを避けるため、隠れ場所を探します。プライバシーの問題もありますが、防犯上はどこからも見えるオープンな外構が最善ですね。

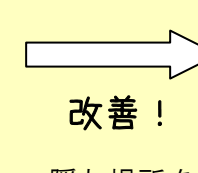
生垣・大きな樹木・背の高い塀・目隠しフェンスは絶好の隠れ場！



生垣



目隠しフェンス



改善！



鋳物・格子フェンス



開口ブロック

③ 音

一番分かりやすいのが、番犬ですよ。他には、「砂利」砂利の上を歩くと音が鳴るのでどろぼうは嫌います。



砂利・防犯ブザーの音で威嚇！

④ ダミー（見せかけ）

玄関や門柱に防犯会社のステッカーを貼っておくだけで効果があるといえます。

「防犯システムが入っているかもしれない」と思わずだけで言い訳です。わざわざ危ない可能性のある家には入らないでしょ！

ステッカー・ダミーカメラだけでも有効

⑤ 通路（侵入・逃亡経路）

入りやすいという事は逃げやすい。隣の家と密集していると、隠れながら次の家へ、何てことも容易になります。駐車場・庭から家に至るまでの空間の見晴らしが良ければ、ベストですね。それから、道路より土地が高い場合は要注意！ 一見侵入しにくいのですが、入ってしまえば・・・道路を歩く人から見えなくなってしまうからです。

敷地境界から家までの空間は見晴らし良く。